

“けてぶれ学習法” × 持続可能な家庭学習の仕組みづくり

三重県 ～津市立芸濃中学校～

学クラ新聞

第27号



◆ 主な活用シーン
・授業
・家庭学習



活用の様子を動画でご覧いただけます

津市立芸濃中学校では、家庭学習の習慣化と生徒自身で学習をコーディネートできることを目指し、さまざまな取り組みを行っています。その中で、みんなの学習クラブタブレットを活用しています。今回は、先生が代わっても継続できる家庭学習の取り組みと生徒への学習方法を学ぶ仕掛けについてご紹介します。

家庭学習を充実させよう！

「みんなの学習クラブ（iプリ）」を活用して、毎日家庭学習に取り組もう。

- 目的 家庭学習の習慣をつける（「みんなの学習クラブ（iプリ）」で30分～1時間の学習）、家庭学習をコツコツ続けることで学習したことを定着させる。
- 内容 毎日どこに決められた教科の「iプリ」に取り組み、答え合わせと自己評価をします。

曜日	月	火	水	木	金
教科	国語	社会	数学	理科	英語

※自己評価の方法は裏面をみてください。
※10月11日（月）より始めます！

＜iプリについて＞
みんなの学習クラブの「iプリ」には、教科によって多少違いはありますが、次のような問題プリント（定額問題、標準問題、発展問題）や解説動画等があります。教科の先生から指定があった場合他にも、得意分野を伸ばしたり、弱点分野の強化をしたりするなどの目的に合わせて活用しましょう。

種類	内容	国語	社会	数学	理科	英語
1	iプリ	○	○	○	○	○
2	定額問題	○	○	○	○	○
3	標準問題	-	○	○	○	○
4	発展問題	○	-	○	-	○
5	マルチ解説	-	○	○	○	○
6	iプリチェック	-	-	○	○	○
7	一問一答	-	○	-	○	-
8	例文	-	-	-	-	○
9	単語	-	-	-	-	○

その他：取り組んできたiプリは定期テストの範囲に入ります。教育相談や三番懇話会、必要に応じて取組の状況について話をします。

◆先生から教科ごとに毎日課題

曜日ごとに教科を決め、先生が毎週の課題を出します。教科によっては、iプリで課題を出し、生徒がタブレットを使って学習します。提出方法も教科ごとに指定します。まずは、課題をきちんと学習できることを目指しますが、1ヶ月毎週、提出できた生徒は、自分で課題を決めてよいとする教科もあります。

教科	10月31日(月)	11月1日(火)	11月2日(水)	11月3日(木)	11月4日(金)
国語	社会	数学	理科	英語	
提出日	週末の国語の授業日	11月2日(水)朝	11月7日(月)夕	11月7日(月)夕	11月7日(月)夕
提出方法	漢字テストと同時に提出	朝の会で回収!	職員室前提出へ	朝の会で英語科提出 理科後が集めてiプリ提出して、職員室前提出へ	朝の会で英語科提出へ

家庭学習の仕組みづくり

◆生徒へ家庭学習の目標を共有

はじめに生徒に家庭学習の目的やiプリへのログイン方法・学習方法などを共有しました。毎日30分から1時間、家庭学習をコツコツ続けることで、学習を定着させることを目的としています。

先生の声／目指す姿とは

◆持続可能な活用にする

生徒の学習活動は、積み重ねが大切なので、先生が代わっても誰でもできて、効果的な持続可能な活動を目指し、職員会議の中で議論を重ねました。課題は教科によって異なりますが、iプリがあるのでワークを買わなくても、簡単に始めることができました。

◆自分の学習をコーディネート

生徒に家庭学習の習慣を身につけてほしいので、今は各教科で先生から課題を出しています。同時に生徒には「自分で自分の学習をコーディネートすることを大事にしてほしい」と伝えていきます。みんなの学習クラブを活用することで先生からの課題だけでなく、予習として、復習として、前の学年に戻って、必要なプリントを選択することができます。最終的には、生徒自身で自分の課題を見つけてコーディネートしながら、家庭学習を進めていくことを目指しています。

◆学習方法を提示(けてぶれ)

自分の学習をコーディネートできるようにするために、2年生を中心に「けてぶれ学習法」を取り入れています。「単純に学習しなさい」ではなく、学習する方法を明確に提示しています。自分の学習を計画・分析し、「メタ認知力」を高めながら、自分で学習をする力をつけてほしいと考えています。



@gakukuraci

Twitter・Facebook でみんなの学習クラブの情報や学校現場の素敵な取り組みをご紹介します。フォローお願いします。



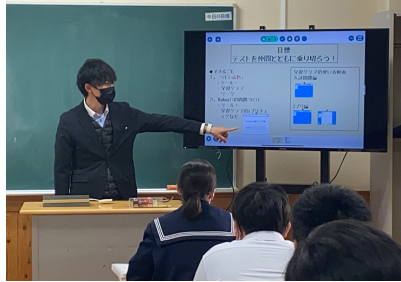
“けてぶれ学習法”をベースに学習する方法を学ぶ

～生徒自身で自分の学習をコーディネートする～

普段の授業や家庭学習の課題で“けてぶれ学習法”を使って、生徒自身で計画し、振り返りながら学習を進めています。今回は、定期テスト前の授業で演習する様子と“けてぶれ学習法”の流れをご紹介します。

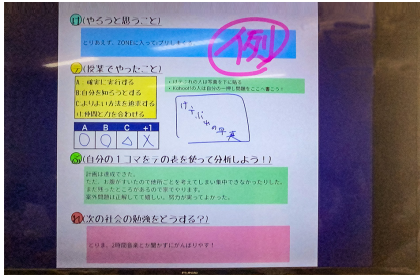
◆今日の学習内容を提示

はじめに、先生から今日の学習の流れを説明します。生徒は、みんなの学習クラブのiプリ・入試問題、ワーク、KAHOOT!の問題作りの中から自分で学習を選びます。



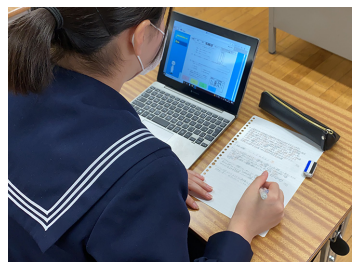
◆計画(け)を入力して提出

先生からロイロノートでワークシートを配布します。生徒は、どんな学習をするか、【やろうと思うこと】に今日の計画を考えて、ワークシートに入力します。先生に提出後、学習へ進みます。

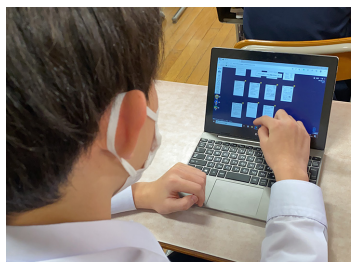


◆iプリでテスト(て)

生徒はそれぞれの計画に沿って、学習を始めます。どのくらい理解できているかをiプリなどでテストします。生徒は、自分の課題を見つけ、自分の学習しやすい方法で学習を進めていました。



ノートまたはタブレットで学習しやすい方法を選ぶ



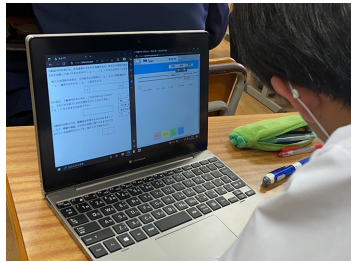
家庭学習用のプリントをロイロノートへダウンロード

◆学習のふりかえり(ぶ・分析) 次の学習を決める(れ・練習)

残り10分で学習の振り返りをワークシートにまとめます。学習したノートは写真を撮り、ワークシートに貼り、今日の学習の分析と、次の学習を入力します。



タブレットに直接記述して学習

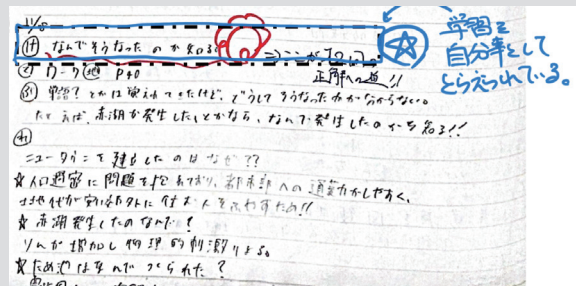


画面を半分にして答え合わせ



◆生徒の計画と分析例

徐々に変化する生徒の分析や学習の質



先生は、生徒のノートで家庭学習の内容を確認します。計画や分析をみることで生徒の学習の状況がわかります。継続することで、生徒の分析や学習の質が高まっていくのが確認できます。

こちらから実際の生徒のノートをご覧ください。



①(やろうと思うこと)

iプリやワークの問題をけてぶれノートにやる。

②(授業でやったこと)

けてぶれの人は写真を下に貼る
KAHOOT!の人は自分の一押し問題をこへ書こう!

- A: 確実に実行する
- B: 自分を知ろうとする
- C: よりよい方法を追求する
- 社: 仲間と力を合わせる

A B C +1
0 1 2 3

③(自分の1コマをテの表を使って分析しよう!)

自分を知ろうとする部分では、分析から自分のよく間違える問題やそのパターンを知ろうとしているので、今回は時間が間に合わずできなかった。家で続きをやるときに忘れないようにしたい。

④(次の社会の勉強をどうする?)

(iプリが一通り終って) ワークをただひたすらやるのは効率的にどうなのか疑問に感じてきた。次からは、いろいろ模索しながら進めていきたい。かといって効率化という名目でやるべきことを省きすぎる事は避けたい。

けてぶれ授業革命!

芸濃中学校で実践されている

『けてぶれ学習法』の書籍紹介

著者：葛原祥太 (出版社：学陽書房)

